

事後評価シート

コード 11-3-6	事務事業名 特色ある学校推進事業	所管部課 学校教育部指導課
---------------	---------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 総合的な学習の時間は各学校の創意工夫に任されているが、各学校がこの授業を通して特色が出せるよう、その教育環境を整える。		事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業	
	実施内容、実施方法 総合的な学習の時間で使用する消耗品費(教材費、図書費、印刷製本費)を一律に配当(小・259,000円、中・286,000円)。賄材料費及び車椅子等の運搬委託は学校の申請に基づき指導課にて予算執行する。学校は各学期ごと報告書を指導課に提出する。		根拠法令等 西東京市教育計画(教育プラン21)	
	事業開始時期	平成 14 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 学校執行金額	活動指標の考え方(定義) 学校に配当した金額に対し、執行された額		
	成果指標名 1次 実施事業数	成果指標の考え方(定義) 1次 特色ある学校推進事業費を活用して学校で行った事業数		
	1次	1次		
	2次 総合的な学習の時間の充実度	2次 学校に対しアンケートを行う。		

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度	
事務事業データ	事業費(A)	千円	7,371	6,997	6,808	7,907	
	国庫支出金					62	
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		7,371	6,997	6,808	7,845	
	所要人員(B)	人	0.17	0.17	0.17	0.17	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,406	1,416	1,391	1,391	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	8,777	8,413	8,199	9,298	
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (実施事業数)	千円			186	#DIV/0!	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	千円			7,971	7,558
		実績値	千円	7,346	6,927	6,708	
	活動指標	目標値					
実績値							
1次成果指標	目標値	事業					
	実績値	事業			44		
1次成果指標	目標値						
	実績値						
2次成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成16年7月に各学校に調査実施。福祉体験、高齢者との交流、農業体験、環境美化活動等の地域との交流に係る学習が充実。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	18年度中に他市の実施状況や予算配当状況の調査を行う予定。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	総合的な学習の時間は各学校の創意工夫に任されている。

コード 11-3-6	事務事業名 特色ある学校推進事業費	所管部課 学校教育部指導課
---------------	----------------------	------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 3 上位施策と目的が合致しているが、施策に対する貢献度は他の事業と比較して低い	▼	総合的な学習の時間の内容は学校の創意工夫に任されているため、目的の適切さについて定量的に設定することは困難である。
	目標の妥当性 2 目標を定量的に設定できないが、定性的には設定している	▼	
	緊急性 3 どちらかと言えば、実施した方がよい	▼	
2 市が関与する必要性	法的義務性 2 法律・条例での規定はないが、通達や要綱・要領で実施が規定されている	▼	総合的な学習の時間は学習指導要領において定められたものであり、市が予算措置を行う必要がある。
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	▼	
	民間との役割分担 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	▼	
3 内容の適切さ	ニーズ 1 市民(市内)ニーズが把握できていない、または、ニーズ把握が曖昧で説明できない	▼	総合的な学習の時間の内容は学校の創意工夫に任されているため、内容の適切さについて数値化することは困難である。
	規模・方法の妥当性 1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない	▼	
	公平性 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民または団体である	▼	
4 実施手段の適切さ	有効性 1 質・水準の改善にはあまり取り組んでいない	▼	役務費は18年度から事業費ごとの配当をなくし、必要に応じて教育庶務課において配当を行っている。
	効率性 2 市直営の中で具体的な計画や目標等に基づきコスト低減に取り組んでいる	▼	
	独自性 4 国や都の制度の上乗せのための事務事業である	▼	
合計		27	

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	総合的な学習の時間は学校の創意工夫に任されており、予算は消耗品費の配当であるため、事業の目的にあった支出であるかを細かくチェックすることが困難である。報告書等の様式を見直し、実施事業や内容が明確に判断できる様式に改善する必要がある。

18年度における改善点	16年度には食糧費の配当をなくし、受益者負担とした。18年度より、役務費の事業費配当をなくし、教育庶務課にて必要に応じて配当することとなった。 今年度は他市の状況調査、学校の事業内容の実態把握を行い、19年度にむけて配当金額の検討及び基準、様式の改善を行う。
-------------	--

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は、「総合的な学習」に消費する予算を一律配当としているが、消耗品などについては、他の事業との線引きが難しく、請求・精算など、事業に消費した支出が明確にわかるシステムづくりが必要である。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は学校側の創意工夫に任されていることから、見直しや検証については一定の制限があるが、二次評価記載のとおり、各学校一律の配当額としている実施方法について検証が必要である。 また、事業目的にかなった支出であるかを明確化するシステムづくりについても今後検討されたい。
--------	---	--